

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金受領株主確定日 3月31日

中間配当金受領株主確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

単元株式数 100株

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第1部

公告の方法 電子公告により行う

公告掲載URL <https://www.tachibana.co.jp/>

(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

創業100周年、その先へ
 株式会社 立花エレテック

〒550-8555 大阪市西区西本町一丁目13番25号
電話：06-6539-2718 FAX：06-6539-8820

<https://www.tachibana.co.jp/>

株主様向け アンケート

よりよいIR活動のために 皆様の声を お聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。(所要時間は5分程度です)

- ①下記URLにアクセス
- ②アクセスコード入力後にアンケートサイトが表示



<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 8159

……以下の方法でもアンケートにアクセスできます……



検索窓から 検索



kabu@wjm.jp ←こちらへ空メールを送信
「件名」「本文」は無記入。アンケートのURLが直ちに自動返信されます。



スマートフォンから
カメラ機能でQRコード読み取り→
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を
進呈させていただきます。
●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です



本アンケートは、株式会社a2mediaの提供する
「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
<https://www.a2media.co.jp>

アンケートのお問い合わせ

「e-株主リサーチ事務局」 (2108)
MAIL: info@e-kabunushi.com

証券コード：8159

おかげさまで100周年
100th
ANNIVERSARY
SINCE 1921

株主通信

第93期 中間報告書

2021年4月1日 ～ 2021年9月30日

創業100周年、その先へ
 株式会社 立花エレテック

Electric & Electronics Technology

立花エレテックは電機・電子の「技術商社」です。

未来のために、今、挑む 新中長期経営計画「NEW C.C.J 2200」で技術商社として 「200年企業になるための基盤づくり」を行います。



株式会社立花エレテック
代表取締役社長 渡邊 武雄

株主の皆様には日ごろより格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当社は9月1日に創業100周年を迎え、このたび新中長期経営計画『NEW C.C.J2200』をスタートさせました。

私たちを取り巻く環境は大きく変わろうとしています。

まずは中長期的な将来を展望した時、人口減少に伴う需要の減少が見込まれます。

急速なデジタル化の進展に伴い、お客様のニーズもモノからコトへ変化し、単品販売ビジネス(=モノ)だけではなく、ハード(=モノ)にシステム技術(=コト)を組み合わせた提案が今まで以上に求められています。

また、コロナ禍を機にリモートワークなどが進み、働き方改革が必要とされています。

こうした環境変化に対応するために、次の100年に向けて、「NEW C.C.J2200」の実践で変革を進めることと致しました。具体的には下記の3つの柱です。すめてまいりますが、この5年間で200年企業を目指し「200年企業になるための基盤づくり」を行います。

3つの柱

- ①新しい時代に適合した営業戦略
- ②体質改善のための基盤強化
- ③2,000億円企業になる

(詳細は5・6頁をご覧ください)

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第93期第2四半期業績ハイライト(連結)

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益
911億 4百万円	27億 24百万円	30億 80百万円	21億 64百万円
前年 同期比 121.5%	前年 同期比 165.5%	前年 同期比 172.0%	前年 同期比 129.8%

前年同期比 増収増益。売上高は同期間としては過去最高となりました。

その他の利益項目も高い水準となりました。

株主還元について

株主の皆様に対する利益還元につきましては、将来の経営環境の変化に対応できるよう財務体質の強化と事業拡大に必要な内部留保の充実を図りながら、安定配当をベースとして業績に裏付けられた適正な利益還元を行う方針であります。

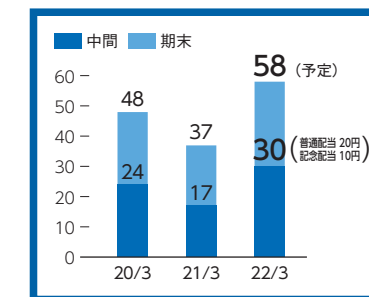
当社は、9月1日に創業100周年を迎えました。これはひとえに株主の皆様をはじめとした多くのステークホルダーの皆さまに長年に亘ってご支援いただいた賜物と心より感謝申し上げます。

長引くコロナ禍に加え、先行き不確定な要素が多々ありますが、足元の業績が好調に推移していることから、中間配当において、1株当たり10円の100周年記念配当を実施することといたしました。また、期末配当金につきましては、10月25日公表の通期業績予想の修正を踏まえ、前回予想の20円に8円上乗せして1株当たり28円とし、中間配当金30円と合わせた、年間配当金は1株当たり58円とさせていただきます。予定です。

また、当社株式への投資の魅力を高め、より多くの方に中長期的に保有していただけるよう、株主優待制度を導入しており、保有株式数と継続保有期間に応じた額面のクオ・カードを6月下旬に発送いたしました。なお、2018年の導入以来、3年以上継続保有の長期保有株主様への1,000円分または2,000円分の増額を昨年より実施しております。

株主の皆様におかれましては、長期的な視点で当社グループの成長を見守っていただきたく、引き続き一層のご支援をお願いいたします。

1株当たり配当金 [単位：円]



FAシステム事業

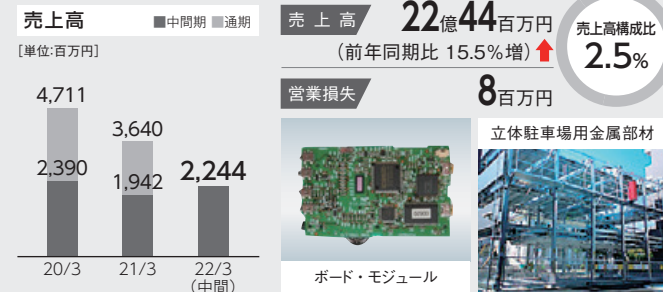


前年同期比、増収増益：売上高+18.0%、
営業利益+46.7%と大きく回復

FAシステム事業は、半導体製造装置関連、物流関連が依然好調に推移。更にコロナ禍での巣籠もり需要により食品関連での設備投資が活性化したことなどで、FAシステム事業全体で大きく回復しました。

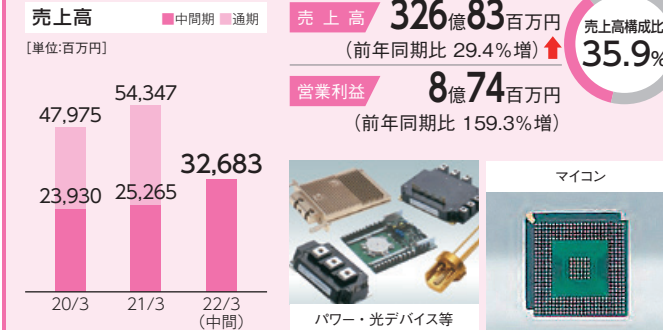
- ▶ FA機器分野はプログラマブルコントローラー、インバーター、ACサーボが増加しました。
- ▶ 産業機械分野では、工作機械と製造ライン向け自動化設備が伸長しました。
- ▶ 産業デバイスコンポーネント分野では、OA化による情報通信機器が伸長しました。その中でもタッチパネルモニター並びに産業用コネクタが大幅に増加しました。また、システム・ロボットも大きく伸長しました。
- ▶ 鉄鋼プラント向け工場設備案件の獲得も売上に大きく貢献しました。

その他



- ▶ MMS分野では、立体駐車場向け金属部材の鋼材価格高騰及び円安を受けて受注が減少しました。
- ▶ EMS分野では部材不足と部材高騰の影響により厳しい状況ではございましたが、家電や介護ベッド関連が好調に推移しました。

半導体デバイス事業

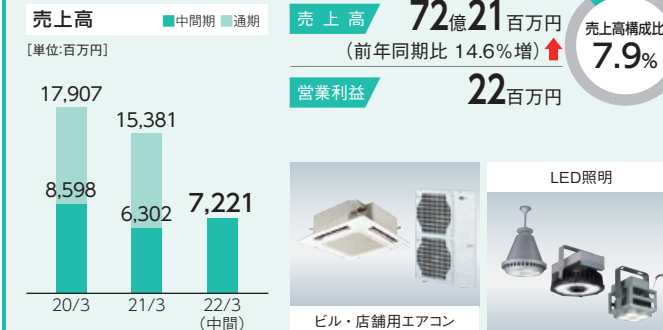


前年同期比、増収増益：売上高+29.4%、
営業利益+159.3%と大きく伸長

国内や中国を含むアジアの旺盛な需要拡大により電子部品が逼迫するも、国内及び海外子会社では必要部品確保に奔走西走し、粘りに粘った結果大きく伸長しました。

- ▶ 半導体分野では、前年度後半から高水準な需要が継続し、マイコン、ロジックIC及びパワーモジュールなどが大幅に伸長。好調な中国市場に支えられ、海外でも半導体分野が大幅に伸長しました。
- ▶ 電子デバイス分野では、メモリー、センサーの各応用製品並びに液晶パネルの根強い需要が継続すると共に、コネクタは大幅に増加しました。

施設事業



厳しい中にも活路を見出した施設事業

経済環境の持ち直しが見られる中、いち早く住設機器の確保を取り付け、お客様のニーズに応えることで堅調に推移しました。

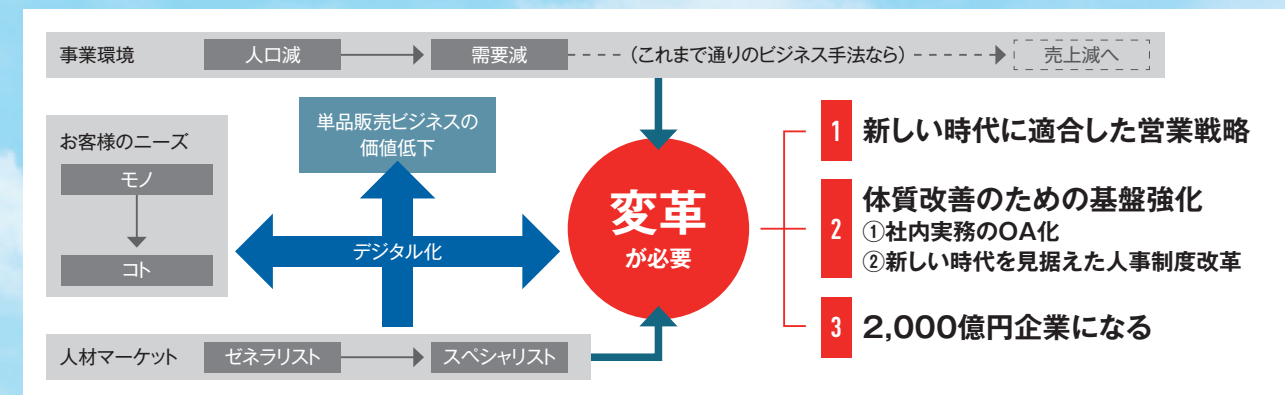
- ▶ 施設事業では、エコキュートや電気温水器などの更新需要の高まりと新築のオール電化が堅調で住設機器が大幅に伸長しました。
- ▶ ルームエアコンも品薄感から注文が増加しました。また、新築ビルに対する各種設備機器の納入も前年に比べ伸長しました。

NEW C.C.J2200 始動！ 次の100年に向けた基盤づくりに全社を挙げて取り組みます

当社は9月1日に創業100周年を迎え新たなスタートを切りました。200年企業をめざして11月8日に5力年の新中長期経営計画「NEW C.C.J2200」（2021年4月～2026年3月）を発表しました。「モノ」と「コト」を組み合わせ、お客様の「夢」の実現をサポートしてまいります。

お客様の叶えたい「夢」の実現のために、
「モノ」と「コト」を組み合わせ、
お客様をサポートいたします。

環境認識

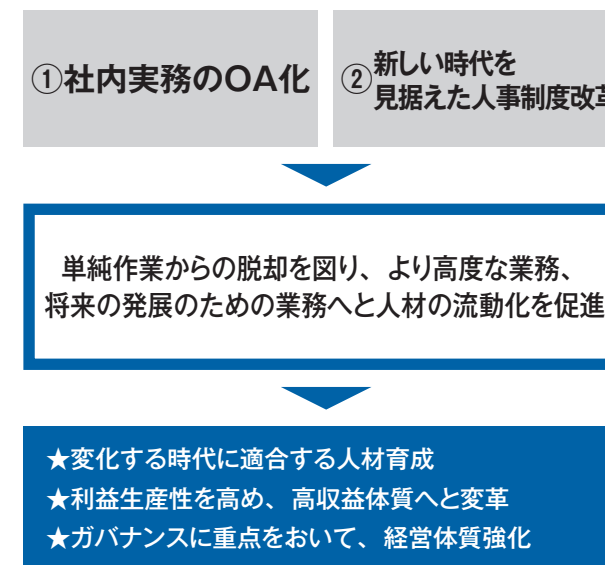


1 新しい時代に適合した営業戦略 ～モノ売りからコトも含めた提案をできる営業力・技術力の向上～

各事業での目指す姿	重点取り組み	各事業の売上チャレンジ目標
①FAシステム事業 26年3月期 1,140億円		
『FAといえば立花』・『M2Mといえば立花』	➡	M2Mビジネス、システムビジネス、ロボットビジネス、3Dプリンタービジネス
②半導体デバイス事業 26年3月期 780億円		
高い技術力と営業力で独自性ある強い半導体専門商社を目指す	➡	品揃えの強化、保有技術力のブラッシュアップ
③施設事業 26年3月期 210億円		
第三の柱として主要事業化	➡	地域のサービスレベルの均一化
④MS事業 26年3月期 70億円		
「ものづくり商社」	➡	アジアでの製造委託先開拓
⑤海外事業 25年12月期 300百万USD*		
拠点のローカル化	➡	アジアのローカルマーケットの開拓を加速させる

※海外事業の計数は、各事業の内数です。

2 体質改善のための基盤強化



3 2,000億円企業になる ～継続して2,000億円以上の売上を計上できる顧客基盤を獲得～

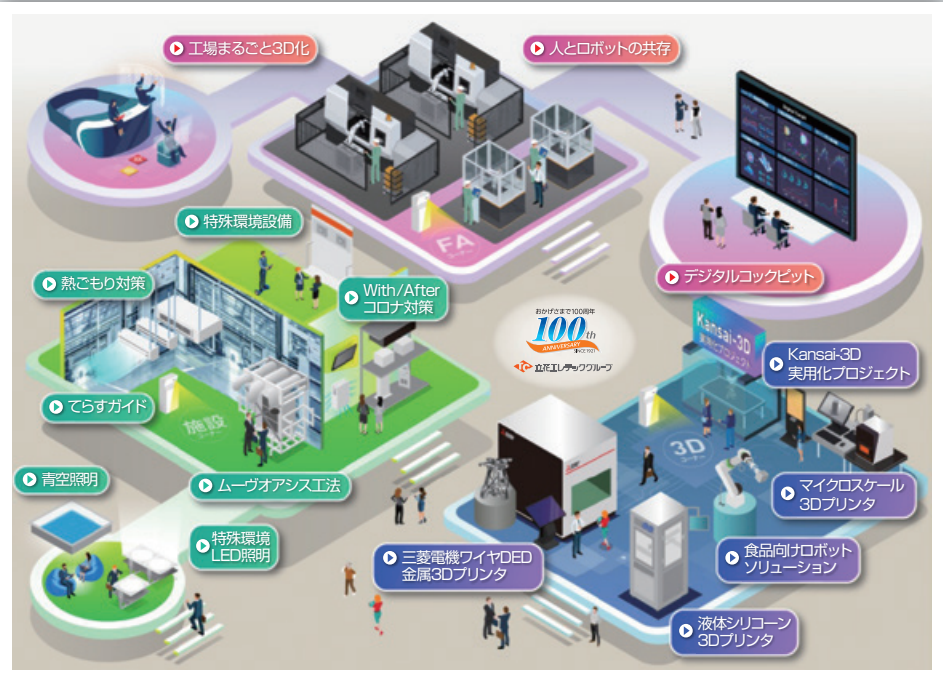
2025年度連結業績 チャレンジ目標	
売上高	2,200億円
営業利益	70億円
戦略取組 ビジネスの目標	売上+見積り商談 500億円

～今後も、各中長期経営計画で着実な成果を出すことで、安定成長する企業体へと変革

「立花オンライン展示会2021」が大好評！
立花オリジナルのソリューションをご提案！

2021年10月18日（月）～11月19日（金）
メインブースでは立花お勧めのソリューションを展示しました。
①企業間をデジタルでつなぎ、全体最適なモノづくりの実現をご提案する「企業まるごとスマート化」
②太陽光電池・蓄電池・電気自動車（EV車）を組み合わせた「脱炭素社会」ソリューション
③3Dプリンティングに最適な複雑かつ軽量化したデザイン設計の実現をご提案する「DfAM:3D設計最適化ツール」
そのほか計15個のソリューションを動画で展示しました。
問い合わせがひっきりなしにあり、担当者が対応に追われるほどの大盛況。

オンライン展示会は今後も継続して実施し、オンラインでの提案力を強化してまいります。
これからもモノ売りからコトも含めた提案し続けることで、次の100年を目指して走り続けます。



■ 四半期連結貸借対照表（要旨）（単位：百万円）

科 目	当第2四半期末 （2021年9月30日現在）	前期末 （2021年3月31日現在）
資産の部		
流動資産	94,133	90,725
現金及び預金	15,793	18,987
受取手形及び売掛金	—	54,816
受取手形、売掛金及び契約資産	58,002	—
棚卸資産	18,206	14,337
その他	2,131	2,584
固定資産	29,987	29,539
有形固定資産	5,618	5,192
無形固定資産	574	606
投資その他の資産	23,793	23,741
資産合計	124,121	120,265
負債の部		
流動負債	43,587	41,221
支払手形及び買掛金	35,410	33,925
短期借入金	2,056	2,064
その他	6,120	5,232
固定負債	3,891	3,837
長期借入金	110	60
退職給付に係る負債	703	706
その他	3,077	3,070
負債合計	47,478	45,058
純資産の部		
株主資本	69,116	67,997
その他の包括利益累計額	7,526	7,208
純資産合計	76,642	75,206
負債純資産合計	124,121	120,265

■ 四半期連結損益計算書（要旨）（単位：百万円）

科 目	当第2四半期（累計） （自2021年4月 1日 至2021年9月30日）	前第2四半期（累計） （自2020年4月 1日 至2020年9月30日）
売上高	91,104	75,008
売上総利益	12,005	9,921
販売費及び一般管理費	9,280	8,275
営業利益	2,724	1,645
経常利益	3,080	1,790
税金等調整前四半期純利益	3,143	2,186
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,164	1,667

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）（単位：百万円）

科 目	当第2四半期（累計） （自2021年4月 1日 至2021年9月30日）	前第2四半期（累計） （自2020年4月 1日 至2020年9月30日）
営業活動による キャッシュ・フロー	△1,829	3,722
投資活動による キャッシュ・フロー	△790	△2,187
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,006	△1,379
現金及び現金同等物に係る 換算差額	251	△81
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	△3,374	74
現金及び現金同等物の 期首残高	17,415	15,756
現金及び現金同等物の 四半期末残高	14,040	15,831

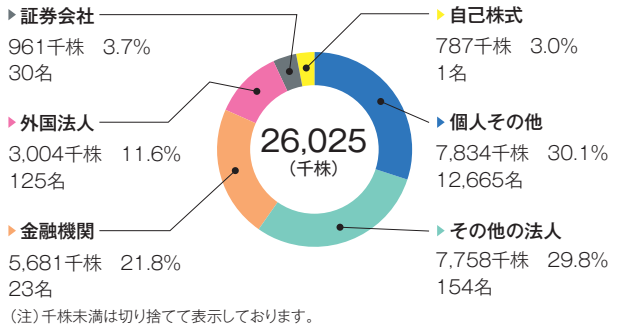
株式の状況 (2021年9月30日現在)

発行可能株式総数	96,000 千株
発行済株式総数	26,025 千株
株主数	12,998 名

株主名	持株数	持株比率
三菱電機株式会社	1,921 (千株)	7.61 (%)
株式会社サンセイテクノス	1,563	6.19
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,345	5.33
立花エレテック従業員持ち株会	1,201	4.76
株式会社三菱UFJ銀行	1,082	4.29
株式会社きんでん	754	2.99
株式会社ノーリツ	742	2.94
SMBC日興証券株式会社	659	2.61
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	493	1.95
日本生命保険相互会社	471	1.87

(注) 1. 千株未満は切り捨てて表示しております。
2. 当社は、自己株式787千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況 (2021年9月30日現在)



会社概要 (2021年9月30日現在)

商号	株式会社 立花エレテック
英文社名	TACHIBANA ELETECH CO.,LTD.
創業	1921年 (大正10年) 9月1日
設立	1948年 (昭和23年) 7月12日
資本金	58億74百万円
従業員数	869名 (連結1,416名)
株式上場	東証一部
ISO取得	品質マネジメントシステム ISO9001 JQA-QMA10303 環境マネジメントシステム ISO14001 EMS693431 情報セキュリティマネジメントシステム ISO27001 IS 509430



取締役・監査役・執行役員 (2021年9月30日現在)

代表取締役社長 社長執行役員	渡邊 武雄	執行役員	米田 浩
取締役 専務執行役員	山口 均	執行役員	植田 裕和
取締役 専務執行役員	高見 貞行	執行役員	多田 満
取締役 常務執行役員	布山 尚伸	執行役員	松浦 良典
取締役	生田 誠	執行役員	城下 雅紀
取締役	辻川 正人	執行役員	永安 悟
常勤監査役	松橋 澄	執行役員	佐野 博行
監査役	大谷 康弘	執行役員	小林 幸司
監査役	塩路 広海		

事業所 (2021年9月30日現在)

本社	大阪市西区西本町一丁目13番25号	営業所	東北 (宮城県)
支社	東京 (東京都)、名古屋 (愛知県)		
支店	東関東 (茨城県)、北関東 (埼玉県)、神奈川 (神奈川県)、三河 (愛知県)、東海 (愛知県)、北陸 (石川県)、三重 (三重県)、滋賀 (滋賀県)、南大阪 (大阪府)、神戸 (兵庫県)、姫路 (兵庫県)、広島 (広島県)、四国 (香川県)、九州 (福岡県)		

関係会社 (2021年9月30日現在)

国内	海外
研電工業株式会社 株式会社立花宏和システムサービス 株式会社大電社 株式会社立花デバイスコンポーネント 株式会社高木商会 株式会社立花電子ソリューションズ	本社 (大阪市西淀川区) 本社 (兵庫県尼崎市) 本社 (大阪市浪速区) 本社 (東京都港区) 本社 (東京都大田区) 本社 (東京都港区) 立花オーバースィーズホールディングス社 タチバナセールス (シンガポール) 社 タチバナセールス (香港) 社 台湾立花股份有限公司 立花機電貿易 (上海) 有限公司 支店：北京、深圳 営業所：武漢、大連、青島 タチバナセールス (バンコク) 社 タチバナセールス (マレーシア) 社
	中華人民共和国 (香港) シンガポール 中華人民共和国 (香港) 台湾 (台北市) 中華人民共和国 (上海市) タイ王国 (バンコク) マレーシア (セランゴール州)



1 香港



2 シンガポール



3 台湾



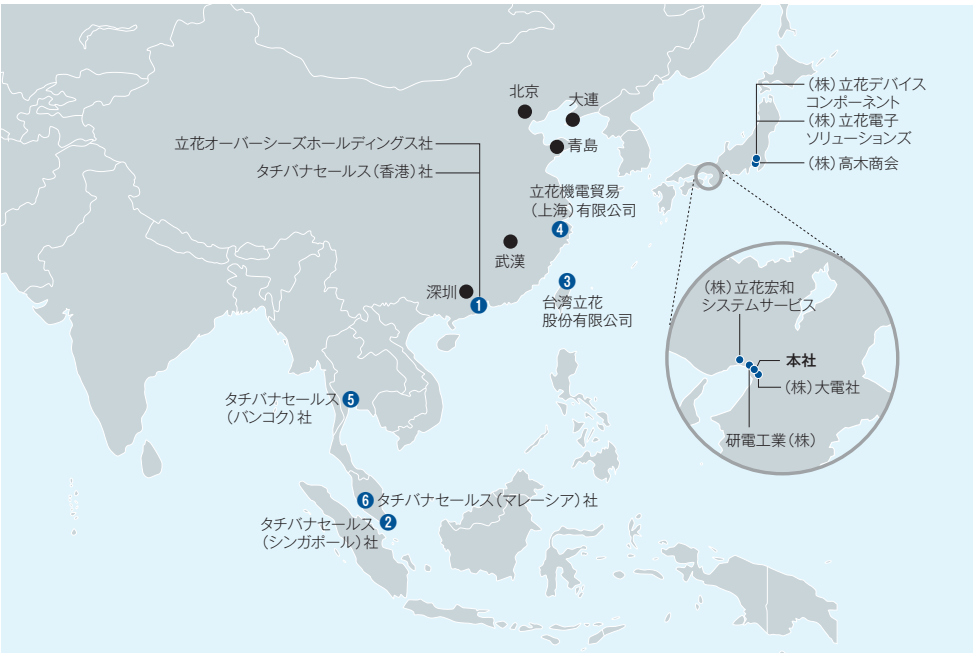
4 上海



5 バンコク (タイ)



6 マレーシア



北京支店



深圳支店



武漢営業所



大連営業所



青島営業所